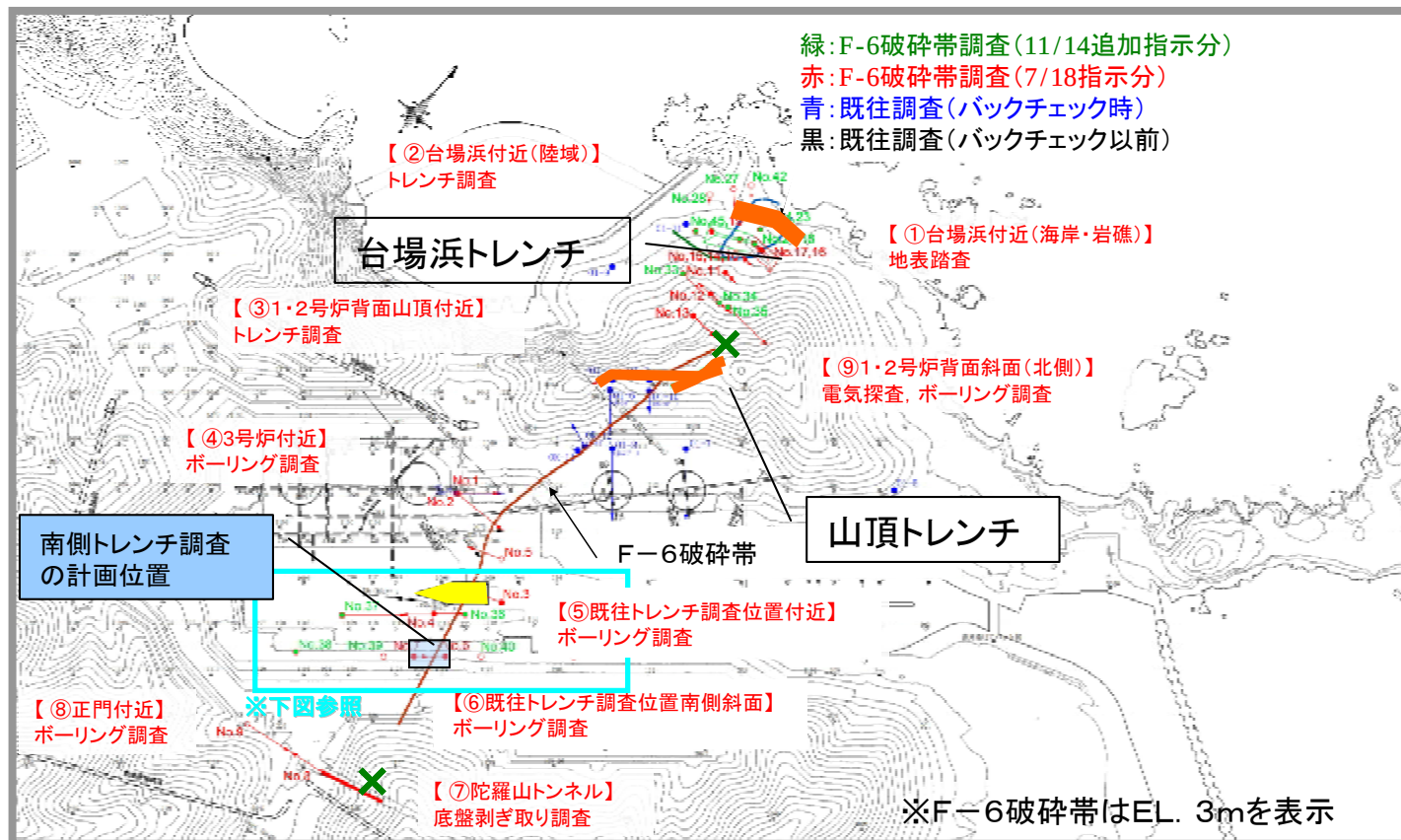
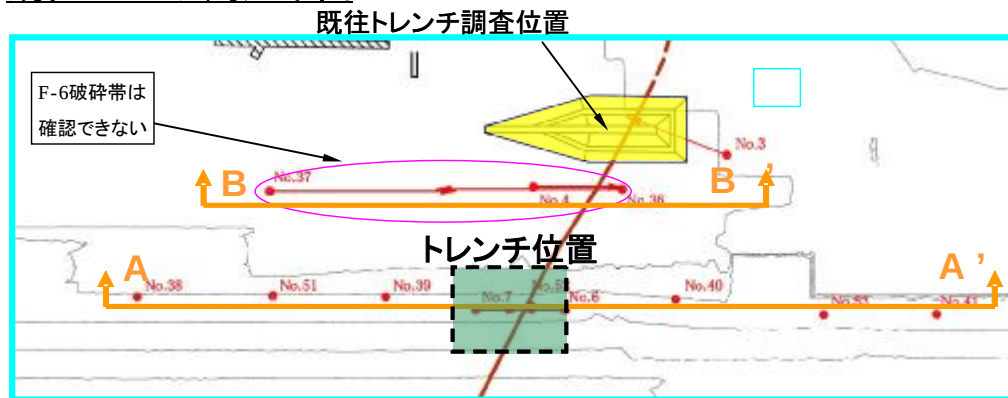


大飯発電所敷地内の群列ボーリング調査結果および南側トレンチの概要

1

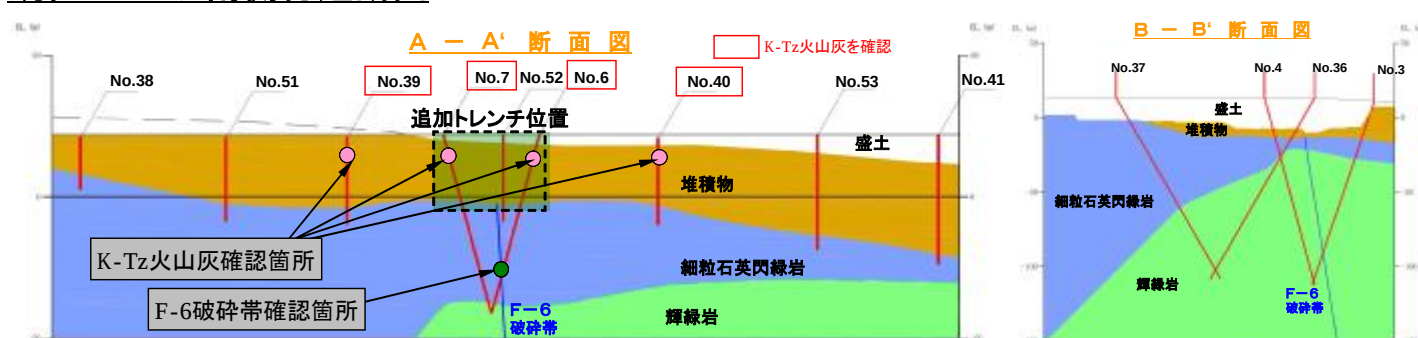


既往トレンチ周辺平面



南側トレンチの規模
(地表面)
長さ: 約70m × 幅: 約50m
深さ: 最大約40m

既往トレンチ南側付近断面



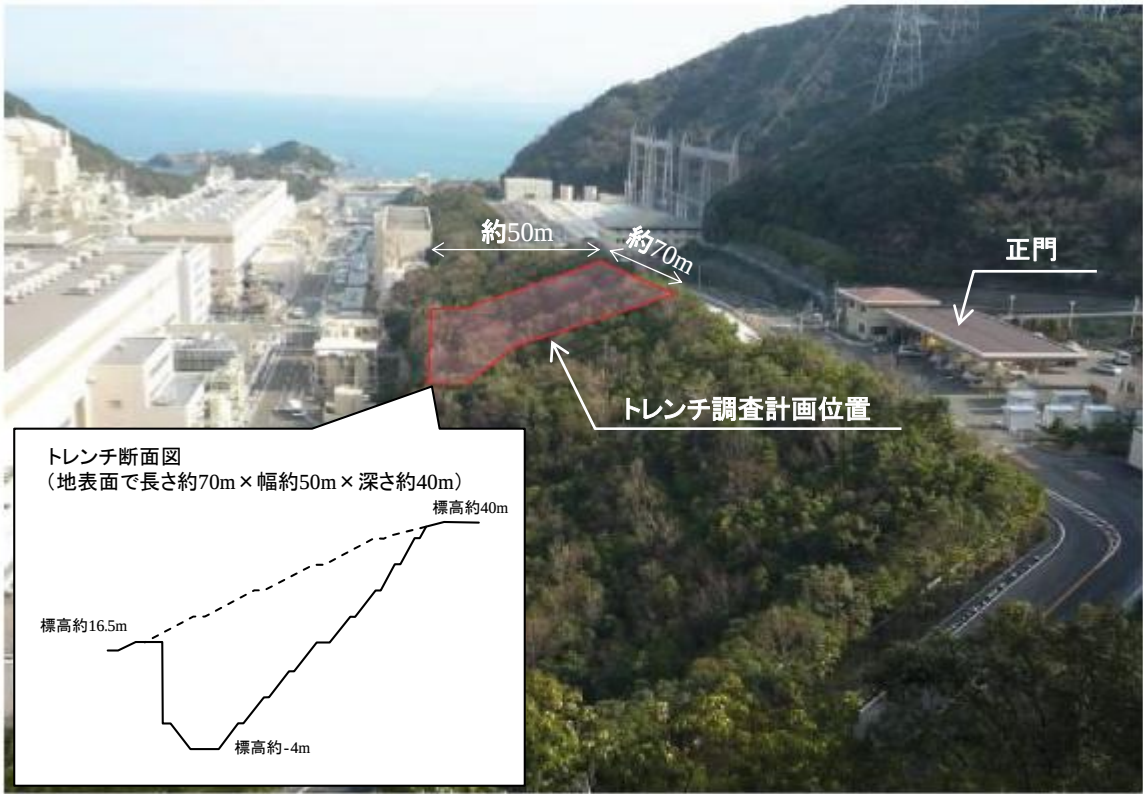
【調査結果】

ボーリング(No.6)調査でF-6破砕帯を確認、群列ボーリングによりK-Tzを含む上載層があることを確認。また、F-6破砕帯確認箇所付近の4孔で堆積物中にK-Tz火山灰を確認。

※K-Tz火山灰とは約9.5万年前に降灰した火山灰。

大飯発電所敷地内の群列ボーリング調査結果および南側トレンチの概要

調査位置写真



調査工程

年	平成25年					
月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
大飯発電所敷地内南側におけるトレンチ調査工程	許認可等準備					
		伐採・進入路造成				
			法面保護			
			法面切取り			
			土留工			
				アンカー工、トレンチ掘削		
					掘削完了	
					地質観察・試料分析	

※工程は、調査の状況によって変更となる場合がある。

【作業内容説明】

法面工事および土留工・・・山の斜面を切り取り、切り取った面が崩れないよう保護する工事。
アンカー工・・・トレンチの内側斜面が崩れないようアンカーを打ち込む工事。